



2022年4月22日

各 位

会 社 名 株式会社スクロール  
代表者名 代表取締役社長 鶴見 知久  
(コード番号：8005 東証プライム)  
問合せ先 取締役 経営統括部長 杉本 泰宣  
(TEL. 053-464-1114)

### 株主提案権行使に関する書面受領のお知らせ

当社は、当社株主より2022年5月開催予定の第81期定時株主総会における株主提案権行使にかかる書面を受領いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本株主提案に対する当社取締役会の意見につきましては、決定次第速やかに公表いたします。

記

#### 1. 提案株主

前田 朋己

#### 2. 株主提案の内容

##### (1) 提案する議題

- ① 取締役1名選任の件
- ② 自己株式の取得の件

##### (2) 議案の内容

別紙「本株主提案の内容」に記載のとおりです。

以 上

## 1. 取締役1名選任の件

取締役候補者 前田 朋己 (まえだ ともき) (1980年4月30日生)

略歴、地位、担当および重要な兼職の状況

2003年3月	立命館大学政策科学部卒業
2003年4月	フューチャーベンチャーキャピタル(株)入社
2006年11月	メディスンプラス(株)社外取締役
2008年9月	SBIインベストメント(株)入社
2011年4月	兵庫県議会議員3期(現任)
2018年10月	合同会社カタリスト代表社員(現任)

所有する当社株式数

30,000株

取締役候補者とした理由:

候補者は、ベンチャーキャピタリストとして多くのベンチャー投資や経営会議に参画し、投資家視点や経営・事業に対する多様な見識を有しています。また、県議会議員として行政監視・監督、ベンチャー企業の社外取締役の経験からガバナンスに対する豊富で多様な知見を有しています。また、株主提案による社外取締役はモニタリング機能常態化を強化するために適任です。

当社を含め通販事業者は低いPER・市場評価が常態化しています。

時価総額の拡大には、コングリマツトディスカウントを引き起こす現行の「DMC (Direct Marketing Conglomerate)」から投資・買収した企業群を育成し、IPOさせていく、DMI (Direct Marketing Incubator) への進化が求められます。

企業投資やM&Aの更なる推進、キャッチボール社などのIPOにより、当社の時価総額を拡大させ、株主総利回りの向上を目指します。

## 2. 自己株式の取得の件

議題の要領:

会社法第156条第1項の規定に基づき、本定時株主総会終結の時から300日以内に、当社普通株式を株式総数500,000株、取得価額400百万円(ただし、会社法により許容される取得価格の総額(会社法第461条に定める「分配可能額」)が当該金額を下回るときは、会社法により許容される取得額の上限額)を限度として、金銭の交付をもって取得することとする。

提案の趣旨:

当社は連結配当性向40%を基本とする配当のみで、自社株買いは長年実施していません。

しかし、総還元性向のうち、配当と自社株買いの割合はPERやPEGレシオ(PER÷EPS成長率)、PBR等を考慮して判断すべきと考えています。

当社のPERは約5.8倍、PBRは約1倍と市場から評価されていません。

本提案は現状の低い市場評価を安価にEPSを向上させるチャンスと捉えた、投資としての攻めの自社株買いです。

安価に取得した自己株式はEPS向上だけでなく、役職員向け株式報酬や将来のM&A対価としても活用可能です。

また、市場を意識した経営はPERの拡大にも寄与します。

今後は配当一辺倒ではなく、自社株買いも適切に配分した、経済合理性を重視した株主還元、効率的なTSR(株主総利回り)の拡大を求めます。